



青森県感染症発生情報 (2022年第43週)

I 第43週の発生動向 (2022/10/24~10/30)

1. 水痘については、上十三保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
2. 手足口病については、上十三保健所管内で**警報**が継続し、三戸地方+八戸市保健所管内で**警報**が**解除**されました。
3. **RSウイルス感染症**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。

II 第43週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
インフルエンザ																
小児科	RSウイルス感染症	5	0.63	11	1.22	31	3.10	2	0.40	4	0.67			53	1.26	-3
	咽頭結膜熱					1	0.10			1	0.17			2	0.05	2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															-1
	感染性胃腸炎	1	0.13	14	1.56	21	2.10	13	2.60	5	0.83			54	1.29	2
	水痘			1	0.11									1	0.02	-10
	手足口病	10	1.25	4	0.44	18	1.80	1	0.20	18	3.00	4	1.00	55	1.31	-14
	伝染性紅斑	1	0.13											1	0.02	1
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	4	0.40	1	0.20	2	0.33	1	0.25	13	0.31	7
	ヘルパンギーナ	1	0.13					1	0.20			2	0.50	4	0.10	-8
流行性耳下腺炎			1	0.11					1	0.17			2	0.05	-2	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					3	1.50	1	1.00					4	0.36	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										2	2.00		2	0.33	0
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



過去2年間、季節性インフルエンザの流行はありませんでしたが、今シーズンは流行する可能性があり、新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念されています。

季節性インフルエンザは、強い全身症状がみられ、特に幼児や高齢者など抵抗力の弱い方が発症すると重症化しやすく、死に至ることもある病気です。

季節性インフルエンザの発症や重症化を予防するためにも、流行前に、早めのワクチン接種をお願いします。

インフルエンザワクチンを接種できる医療機関は、下記のホームページをご覧ください。新型コロナワクチンとの同時接種も可能ですので、事前にお問い合わせください。

☞ [インフルエンザワクチンの接種について\(青森県HP\)](#)



インフルエンザ (五類感染症 定点把握)

インフルエンザを予防する有効な方法

① 流行前のワクチン接種が有効です

ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、入院の危険が約1/3から1/2にまで減少することが期待できるとされています。現行ワクチンの安全性はきわめて高いと評価されています。

② 手洗いやアルコール製剤による手指衛生も有効です

手洗いで付着したウイルスを洗い落とすことや、アルコール製剤による手指の消毒もインフルエンザウイルスに対して有効です。



③ 感染を広げないために「咳エチケット」を心がけてください

インフルエンザは、主に、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴(飛沫)によって感染します(飛沫感染)。普段から「咳エチケット」(①他の人に向けて咳やくしゃみをしない、②咳やくしゃみが出る時はマスクをする、③手のひらで咳やくしゃみを受け止めた後手を洗うことなど)を心がけてください。



インフルエンザ(高齢者)のリーフレットより抜粋
(出典:厚生労働省 HP)

○詳しい情報はこちらをご覧ください
☞ [インフルエンザに注意しよう\(青森県HP\)](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：青森市3人、八戸市1人 (2022年計：126人)
- ・レジオネラ症（四類感染症）：上十三1人 (2022年計：9人)
- ・梅毒（五類感染症）：青森市1人、八戸市1人 (2022年計：21人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022年第40週～第43週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40		アメーバ赤痢1人				
41	水痘(入院例)1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	梅毒1人			
42	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	梅毒1人	百日咳1人
43	梅毒1人		梅毒1人		レジオネラ症1人	

Ⅵ 結核(二類感染症)（2022年第40週～第43週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	1	1	1			
41		1	1			
42	1	1		2	2	1
43	3		1			

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第42週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病
累積報告数	11753	1	14	2879	15	8	350	60	19	9

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	17	1	6	108	5	105	70	393	5	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	23	13	2	1819	36	434	158	1510	25

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	306	6	138	587	702	30	143	5	963	253

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	10141	119	86	118	383	10	6	11	

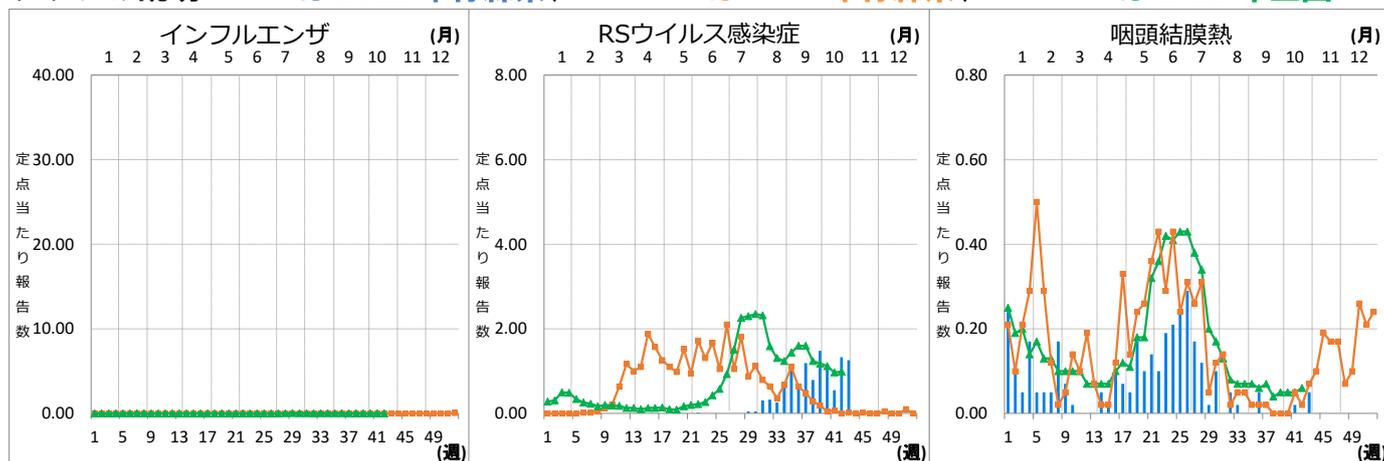
青森県（2022年第1週～第43週までの累計）

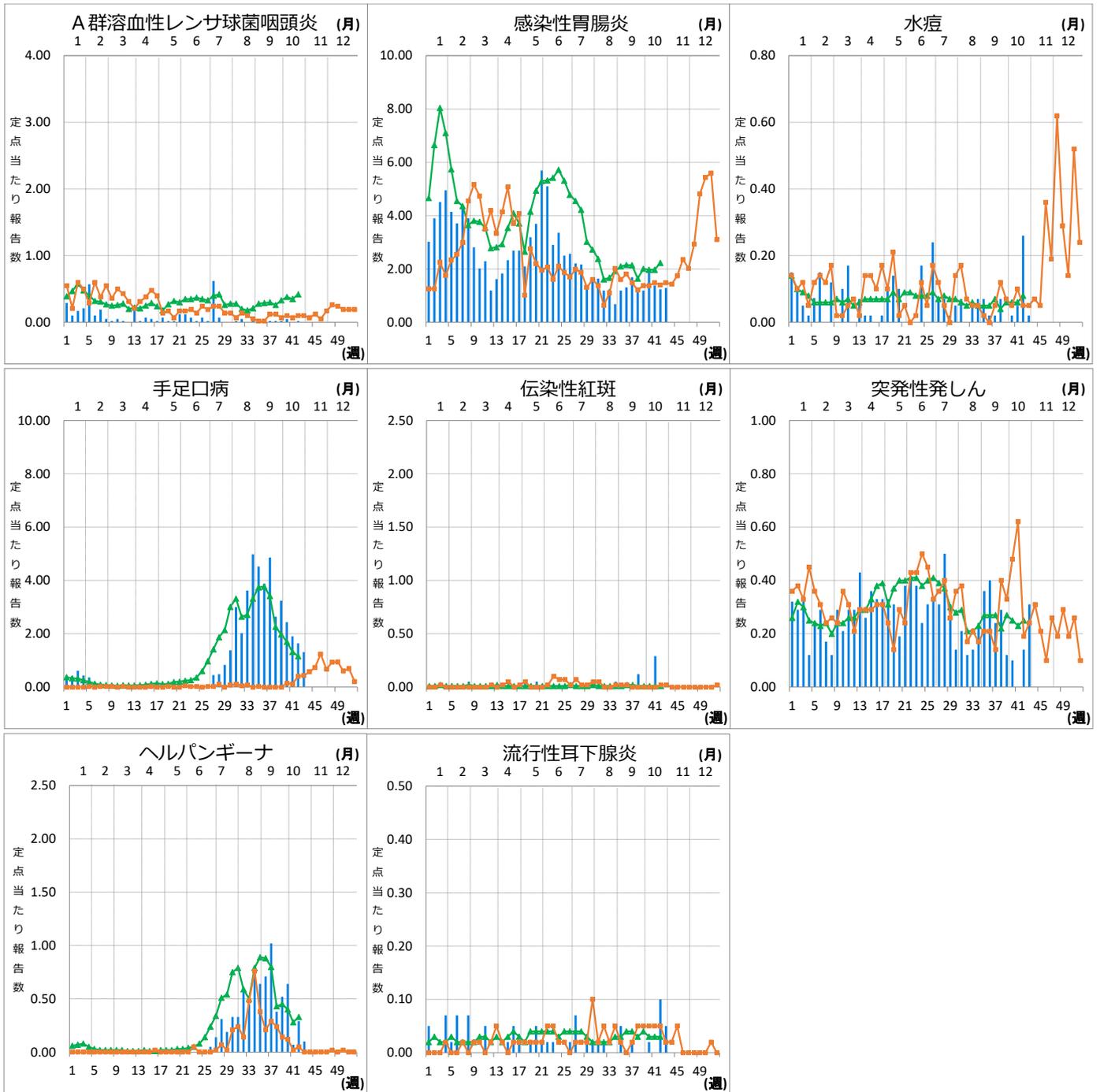
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	126	16	1	7	9	3	1	25	1	3

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	14	2	6	2	21	1	3

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第43週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第43週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ■は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国

